

授 業 科 目 名	外国語 I (中国語)	選択必修	開講年次	1	単位数	2
科目区分	外国語科目／免許法施行規則第66条の6に定める科目					
サブ タイトル	中国語の ABC	担当者	加藤 阿幸			
講義概要	<p>【概要】 初級中国語のもっとも基礎とでもいえる発音及び基本文型を習得する。</p> <p>【到達目標】 ローマ音表との違いを認識し、簡体字に慣れてもらうこと。</p>					
履修条件	授業中に私語をしない人。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 やさしい表現のカタチ(1)―(蘇氷・山内智恵美著)、白帝社</p> <p>【参考書】 中日辞典、日中辞典</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス。					
2	中国語とは？四つのアクセントと基本母音。					
3	中国語 I は発音がすべて。こんにちは、ありがとう、さよならを中国語で言うてみる。					
4	自分の氏名を中国語で言うてみる。数字の言い方。					
5	第一課声調、母音、子音。(p6—9)					
6	第二課。鼻音、声調変化ついて。p10-13)					
7	第三課「姓名の表現」主語＋述語＋目的語の文型。(p14,15)					
8	第三課の続き。第三課の練習。(p16,17)					
9	第四課「判断の表現」基本疑問形。(p18,19)					
10	第四課の続き。練習問題。(p20,21)					
11	第五課「程度の表現」形容詞。(p22,23)					
12	第五課の続き。練習問題。(p24,25)					
13	一から五課の単語の読み方の再確認。					
14	一から五課の会話部分の再確認。					
15	自分の氏名、学籍番号、所属の中国語の言い方。					
評価方法	出席率、平常点と期末試験の総合評価。					
評価基準	上記授業の単元の内容について、決められた課題や宿題とも 90%以上提出し、平常試験、期末試験とも 80 点以上あり、出席も 12 回以上ある学生には「A」を与える。上記提出物の提出率が 70%以上、諸試験とも 80 点以下、70 点以上、出席 12 回以上の学生には「B」を与える。上記提出物の提出率が 60%以上、諸試験とも 70 点以下、60 点以上あり、出席 12 回以上の学生には「C」を与える。上記指定したことに満たさない学生には、その評価を「D」または「E」とする。					
その他	欠席は 3 回以上で単位放棄とみなします。					